

12j システム設計 実践トレーニング

1. 研修要領

・募集定員	24名
・研修会場	出島交流会館（住所：〒850-0862 長崎市出島町2-11）
・講師	富士通ラーニングメディア（FLM）講師：谷川直仁
・開催月日	2025年10月9日（木）・10月10日（金）
・実施時間・日数	9:30 ～ 17:30（7時間/日）・2日間（14時間）
・受講料（税別）	94,560円
・教材料（税別）	6,000円

2. 対象者

システム設計作業を担当する方

※前提知識として、システム設計の基礎知識（機能設計・データ設計）があること。

3. カリキュラムの概要

システム設計の作業やその考え方を演習を通して修得するコースです。演習では、機能とデータの両面での考え方、ポイントの理解を目的に、事例企業の業務を題材とした画面レイアウトのレビュー、論理データモデルの修正などを行います。演習はグループ形式で行います。参加者同士の意見を交換することで、新たな観点到に気づくことができます。

4. カリキュラムの詳細

2日間（14時間）

	科目	時間	科目の内容
10月9日	システム設計概要	0.5	1 システム設計とは 2 システム開発体系
	方式設計	0.5	1 方式設計の位置づけ 2 アプリケーション方式設計のポイント 3 基盤方式設計のポイント
	機能設計	1.5	1 機能設計の位置づけ 2 機能設計と他の作業の関係 3 プロセスの定義のポイント 4 画面設計のポイント 5 帳票設計のポイント 6 プロセス機能設計のポイント 7 外部設計のレビューのポイント 8 プログラムへの分割のポイント
	データ設計	4.5	1 データ設計の位置づけ 2 データ設計と他の作業の関係 3 論理テーブル設計のポイント 4 プロセスとデータの整合性検証のポイント 【演習1】
10月10日	画面設計・画面イベント定義演習	1.5	【演習1】続き 【演習2】 【発表】
	データ設計演習	5.5	【演習3】 【演習4】 【発表】
	計	14.0Hr	

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

5. 使用教材

システム設計 実践トレーニング

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. システム化要件(システム機能やデータ構造など)を把握する。
2. システム機能の設計を行い、プロセスの設計をする。
3. コードおよび帳票や画面の入出力形式の設計をする。
4. データ(テーブル)の設計をする。

7. レベル

ITSS:アプリケーションスペシャリスト育成 - [*]テクノロジー【レベル:2】

ITSS:ソフトウェアデベロップメント育成 - [*]テクノロジー【レベル:2-3】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名